

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(10月)

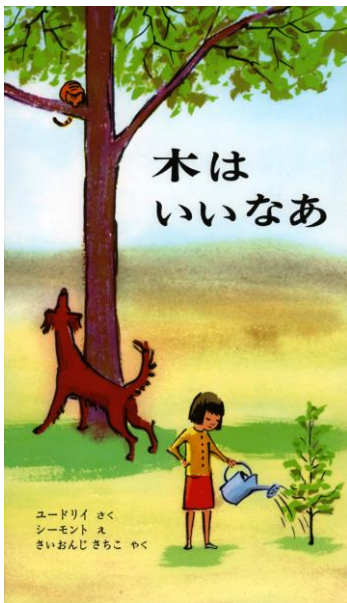
<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎
矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『木はいいなあ』

ユードロイ 作 / シーモント 絵 / 西園祥子 訳 / 偕成社
外国の絵本 対象年齢：4歳から



ロングセラーの本が登場です。木は、私たち人間や動物にとって常に一緒に存在し、生活環境の中でなくてはならないものです。

木の力は自然界に生きる全てに影響を与え、木がなくては生きられないと言っても過言ではありません。

木は、生きていて一つ一つ個性があり、それぞれの特徴を持っています。私たちの社会と同じです。日本の国土の約70%が森林で、矢祭町では80%です。四季においては、それぞれの自然の変化を楽しませていただき、大雨の災害においても、私たちの生活を守っています。

また、木から私たちは恵をいただき、空気がきれいになり、川にも恵みを与えます。自然を愛し森林の大切さを伝えたいと思っています。

内容のご紹介

アメリカの古典的な絵本、1950年代に保育園に勤めていた作者ジャニス・メイ・ユードロイさんが自分の幼き日に味わった木や森のある生活の素晴らしさを、そのまま子どもたちに伝えたいと思って構想を練った作品です。森のすがすがしい空気。秋の落ち葉焚きの楽しさ。大木の太い枝に登って遠くを眺めたり、海賊ごっこをする。家のわきの大木は夏は涼しい陰をつくってくれる。嵐の日には暴風から家を守ってくれる。そんな風景を、画家のマーク・シーモントさんが活気のみなぎるのびやかな水彩画で描きだしている。 参考文献:『柳田邦男「人生の一冊の絵本」森を守った物語から』/岩波新書

子どもの目で見えた木のある生活への讃歌が、さわやかな水彩画でおおらかに描かれています。作者の保育体験から生まれた絵本です。 参考文献:偕成社紹介文(矢祭もったいない図書館)